

# 食の喜びを共有すること

企業組合津島あぐり工房あすも

うぶすな 代表 山下由美



## 「あぐり工房あすも」の思い

2009年にJAが道の駅ささいや広場の中に米粉パンの店がオープンすることになり、女性12人で「パン工房みなみ」をスタート。その後、「企業組合津島あぐり工房あすも」を設立し、地産地消費フェ「あすも」を津島町高田にオープン。「食の安全安心」と「地域の伝統の味を受け継ぐ」ことを目標に掲げ、地元産の食材を使った総菜や弁当はもとより、「元気もん」などの加工品の製造販売も実施している。



廃校を活用した「楽校うらしり」

## 新たに「うぶすな」をオープン

令和8年4月23日、パンやおにぎりなどを提供する「うぶすな」を「道の駅津島熱田温泉」館内にオープン。道の駅と地域住民をつなぐ人が必要だという思いから、新たに「うぶすな」をオープンすることを決意。提供されるごはんは、「あぐり工房あすも」で生産された農産物や、全国の知人農家から調達した農産物を使用しており、1つ1つの食品に山下代表の思いが込められているように感じる。「うぶすな」にも意味がこめられえているので、皆様も調べてみてはいかがでしょうか。



「うぶすな」オープン

## これから新規就農を目指す方へ

自分がどういことをしたいのかという目標を明確化することが大事だと思います。食べるということは生きるということで、それを担う農業という職業は素晴らしいと思います。

山下代表は農業から加工販売業、様々な役員を務めてきた方で、皆で食の喜びを共有する場を作りたいとのこと。頑張ってきたことが最終的には自分の居場所を作ることにつながると語り、地域農業を支える人材への期待を膨らませていました。



「うぶすな」で提供されるおにぎり

あすも設立のきっかけ

地域女性「パン工房みなみ」をスタートさせ、もっと力を試したいという思いから

あすもの経営理念

食の安全安心と地域の伝統の味を受け継ぐ

あすも設立

2012年

うぶすなの思い

地域と人をつなぐ食の喜びを提供